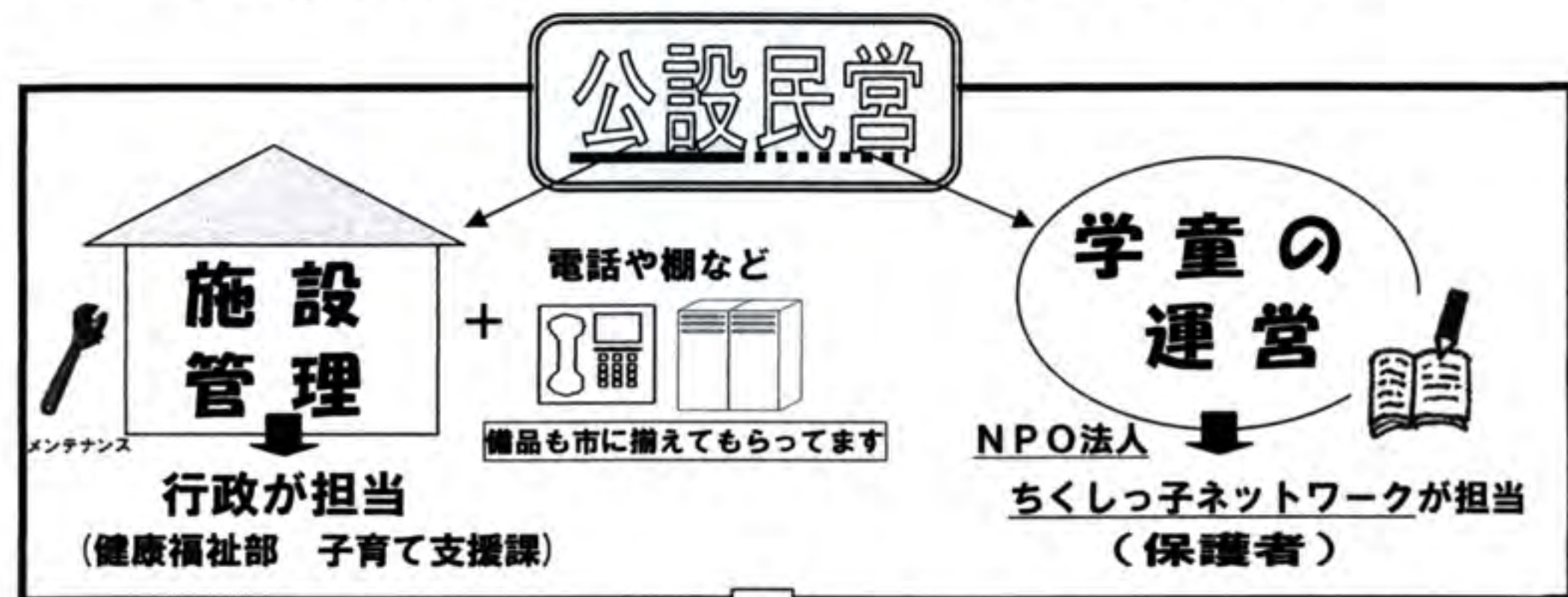


知っていますか？

指定管理者制度

6月19日に開催された、平成22年度「第1回ちくしっ子ネットワーク代表者会」で、指定管理者制度についての学習会が行われました。この学習会では、地域の学童保育事業に指定管理者制度を導入した福岡県宗像市、東京都八王子市の事例が報告され、子どもと保護者をないがしろにした制度導入の実態に、参加した各学童の会長、理事の皆さんから驚きと、「もしも筑紫野で導入されたら…」という不安の声が広がりました。そもそも「学童保育にはなじまない」と言われる指定管理者制度について、そのしくみと、学童に導入された場合の問題点についてお伝えします。

●まず、今の筑紫野市の学童保育の状況から見ていきましょう



指定管理者制度が導入されると…

条例により、市が選定した指定管理者が学童保育所(公の施設)の管理運営を行う

という ことは…

指定管理者はA社ね。

行政

選定

管理運営をします。

〇〇学童

A社

●指定管理者制度って、そもそも何だろう？

2003年6月の通常国会で、地方自治法第244条が改正され、導入された制度 (2006年9月施行)

法改正の目的は⇒『行政改革』すなわち公共部門のスリム化、コスト削減

何が変わったの？

公の施設の管理運営について

改正前→自治体直営ないし公的団体へ委託
 改正後→企業その他の民間団体も

「指定管理者」として参入可能に。

規制緩和
官から民へ

ここでポイント!

指定管理者制度は公の施設の管理運営についての制度です



なので、保育事業である学童保育には、もともと指定管理者制度はなじまない

また、指定管理者制度の注意すべきポイントは…

- ①「指定」の期間が定められている(概ね3~5年)
- ②選定は、基本的に「公募」
- ③営利企業も参加できる
- ④「公募」による業者競争の目的は→「住民サービスの向上と経費の節減」(総務省通知)

●実際に学童保育に指定管理者制度が導入された地域では何が起きているか

★指定管理者の撤退、指定辞退つまり「事業の放り出し」

東京都八王子市では、平成20年度末で指定期間の満了を迎えた社会福祉協議会が6学童について次の公募で再指定に名乗り出ないことを決定。急遽、保護者が中心となったNPO法人が学童保育事業を引き継ぐことに。



★管理コストの削減が重視されるため、施設整備、安全管理が後回しに

(施設の破損箇所の放置、備品・遊具の不足)

引き継いだ学童施設の中は、割れた窓ガラスにガムテープ、枠だけになった網戸、ボロボロのカーペットがそのまま使用されているという驚くべき状況が…



★指導員が集まらない→慢性的な人手不足

指定期間後の雇用保障が出来ないため指導員が集まらない。人件費削減のための雇用条件の悪化で生活ができなくなり、退職に追い込まれる指導員が続出。



★指定取り消し

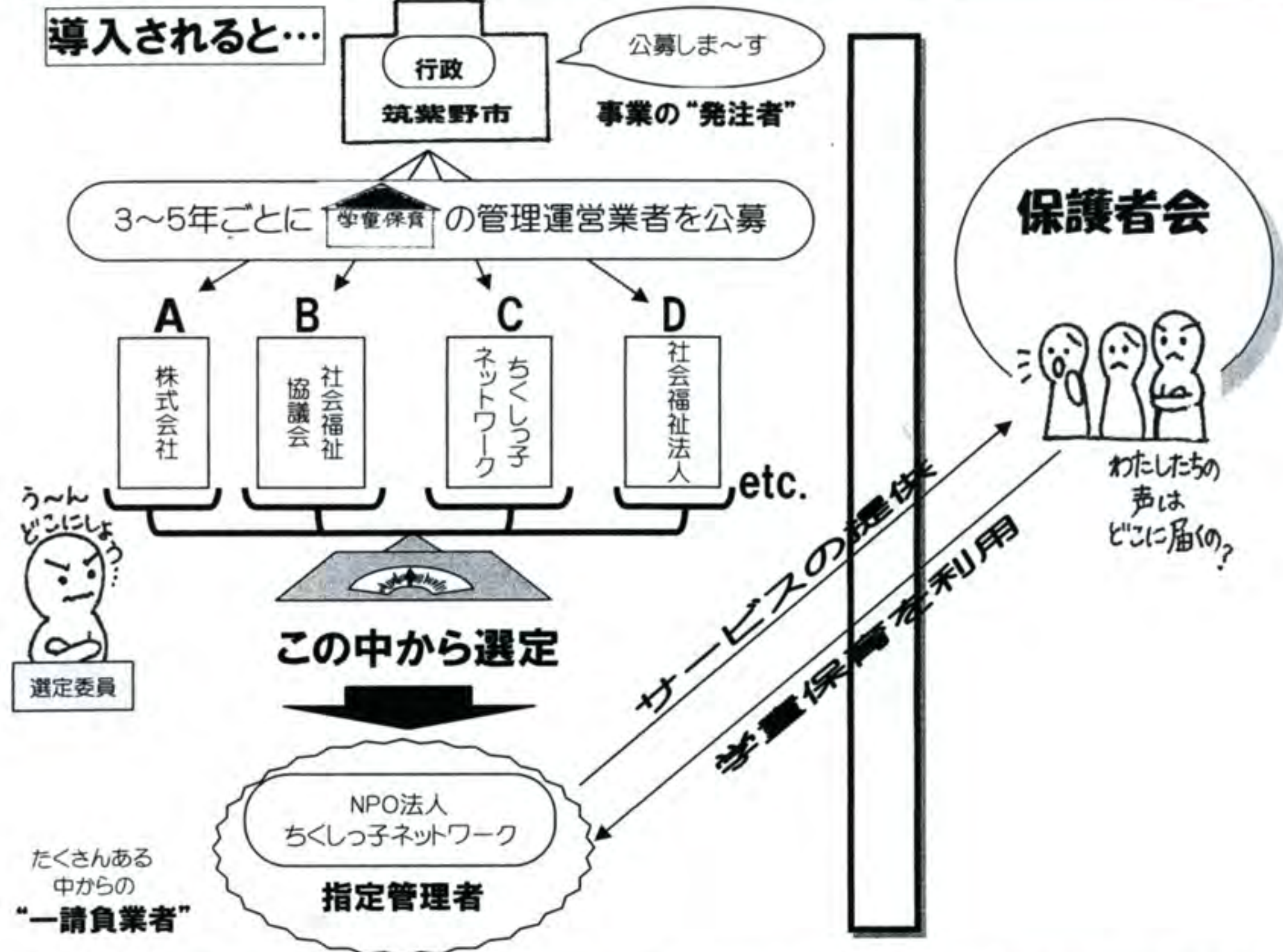
北海道帯広市では、学童保育の指定管理者になった事業者が経営難に陥り、職員への給料遅配、複数業者への代金未払いが発覚。指定期間満了前に指定を辞退し、わずか9ヶ月で指定取り消しに。学童保育は当面市の直営に変更された。入所者は貼り紙1枚で閉鎖を知らされた。



●では、もし、筑紫野に指定管理者制度が導入されたら…
保護者と行政との関係はどのように変化するのでしょうか？



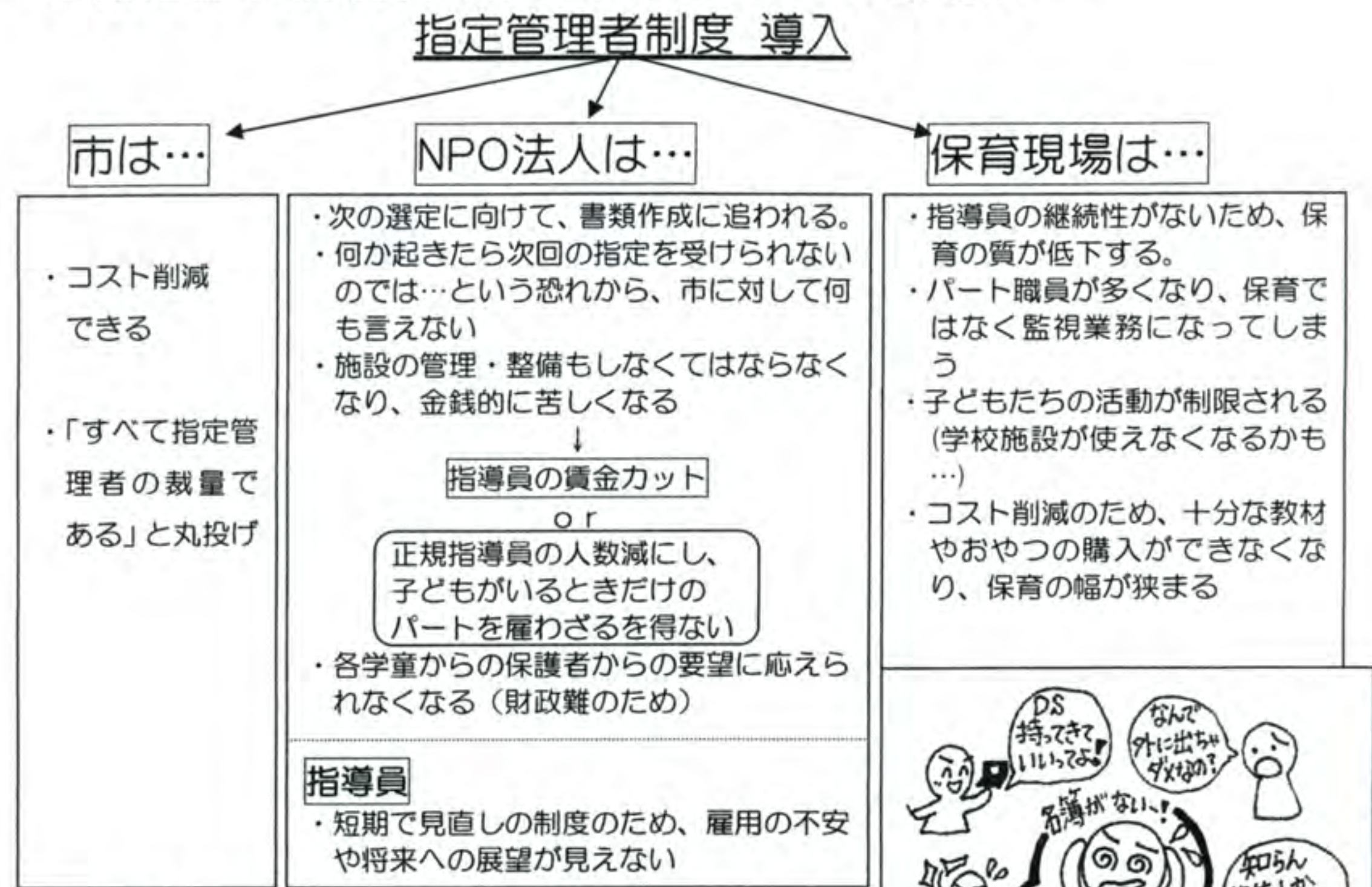
導入されると…



NPO法人ちくしっ子ネットワークが指定管理者になると、行政との関係は対等ではなく“事業の発注者”と“請負業者”という上下関係になってしまう。

ちくしっ子ネットワークは保護者によって組織されている法人であるにも関わらず、行政にとっては一事業者となり、公平性を欠くという理由で要望（請願）や市長との懇談などは受け付けなくなる

●指定管理者制度が導入されるとこういった弊害が…



実際に起きている弊害

★事故や問題の隠蔽体質が生まれる

指定期間が定められているため、継続指定を希望する業者が利用者（保護者）からのクレームが行政に伝わることを恐れ、保育中の事故や問題を隠す。事故を防止するため、ゲームやマンガの持ち込みをOKにし、子どもたちの外遊びの時間を意図的に減らす。

★指導員の質の低下

保護者からクレームが出ないよう、子どもの言いなりになって、あたらず触らずの保育をする。



学童保育に指定管理者制度はなじまない

学童保育は、働く親を持つ子どもたちが、家庭に代わって放課後の時間を過ごす「生活」の場です。「生活」とは、日々の継続であり、そこは何より安全で、子どもたちが毎日、仲間と共に安心して楽しく豊かな成長を育める場所でなければなりません。

「継続性、専門性、非営利性が求められる学童保育に指定管理者制度はなじまない」。このことを一人ひとりがしっかりと確認し、筑紫野市の学童保育に今後もこの制度を導入させないよう、みんなで声を上げていきましょう。